

■一般市民向け治験啓発イベント「ちけんフェスタ」■

小林 史明（日本医師会治験促進センター）

山下 美和（日本医師会治験促進センター）

【報告】

一般市民を対象とした「治験」の普及啓発イベント「ちけんフェスタ」を金沢駅地下「もてなしドーム地下広場」で開催した。イベントでは、「治験」をより身近なものとして捉えてもらえるよう同意説明の場面を舞台とした「治験なっとくミニ劇場」を上演したほか、治験の重要性や日本の現状などを説明するパネルを設置し、クイズ形式で治験について理解を深めてもらえるよう工夫を図った。

より多くの集客のためにポスター、チラシでの事前告知を行い、キャラクターショーも用意したが、会場内の参加者数は最も多い時間帯であっても 100 名程度に留まった。しかしながら、参加された方に関しては、子供から年配の方まで幅広い年齢層の方々に治験について理解してもらう機会を提供できた。クイズ参加者（会議参加者を除く一般市民 252 名）へのアンケート調査では、治験を「よく理解できた」または「なんとなく理解できた」と回答した人は 80%であった。



新たに製作した治験啓発用のマスコットキャラクターの人気は高く、女性や子供たちそして会議参加者に囲まれる存在であった。



今回、公共スペースでの治験啓発を初めて行い、劇、クイズ、マスコットキャラクターといった内容構成への手応えを感じた一方で、より効果的な啓発のためにはいかに大勢に集まってもらうかが課題であることを痛感した。この経験を活かし、今後も一般向け治験啓発イベントを展開していきたい。